

1999年8月11日

県民意識調査  
景気回復を探る  
報告書

(1999年7月23日~25日調査)

調査の設計

単純集計と概要

調査の結果

調査票



長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

# I 調査の設計

## ◆調査の目的

バブル経済の崩壊から長きにわたる景気の落ちこみに、ようやく「底離れ」の胎動が政府統計やマスコミ調査に現われ始めている。その一方で、企業の設備投資意欲はいぜん低迷し、失業率も最悪コースをたどっている。こうした不透明感の中で、景気のカギを握る個人消費の先行きが注目される。家計収入の現状や出費の変わりよう、今後の景気の見通し、望む政策などを通じて、一般世帯レベルの景気回復への動向を探る。

## ◆調査の設計

調査対象 長野県内に住む 20 歳以上の男女 800 人

抽出方法 県内を東北中南の 4 地区に分け、さらに 20～60 代の 5 つの年代層に分けて、人口数により比例配分し、各市各郡の対象者数を設定。N T T の電話帳から一定のルールにより、無作為抽出した世帯から、設定した年代の人を 1 世帯 1 人選んだ。

調査方法 電話

調査期間 1999 年 7 月 23 日～7 月 25 日

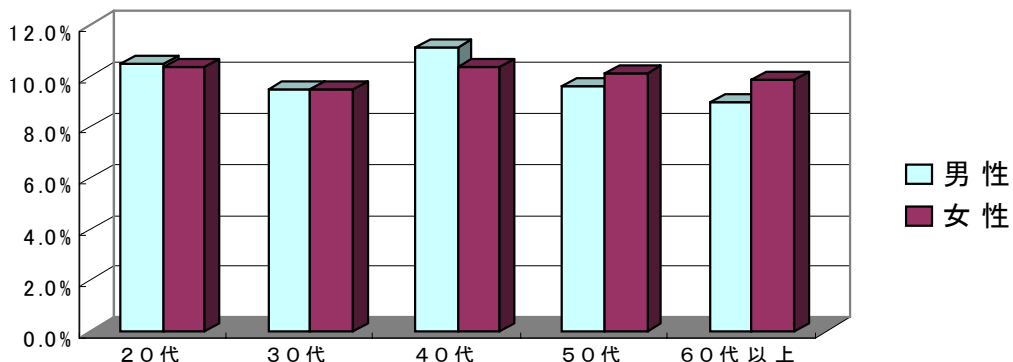
調査地点 17 市 18 町 11 村

◆回収結果 各市各郡とも性・年代の人数に達するまで抽出を繰り返したので、回答数は対象者数と同じ 800。

## ◆サンプルの内訳

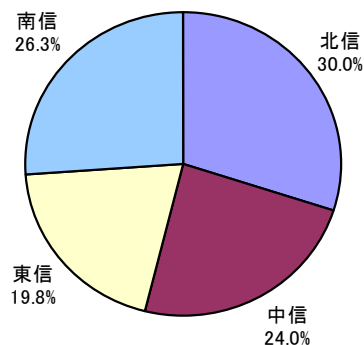
< 性別と年代 >

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	398 49.7%	84 10.5%	76 9.5%	89 11.1%	77 9.6%	72 9.0%
女性	402 50.3%	83 10.4%	76 9.5%	83 10.4%	81 10.1%	79 9.9%



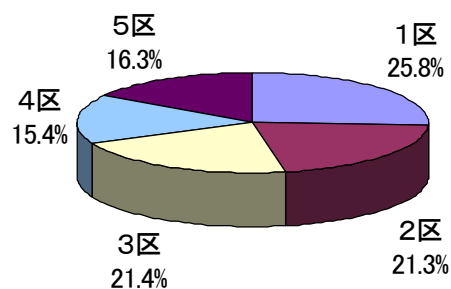
< 地域別 >

北 信	240	30.0%
中 信	192	24.0%
東 信	158	19.8%
南 信	210	26.3%



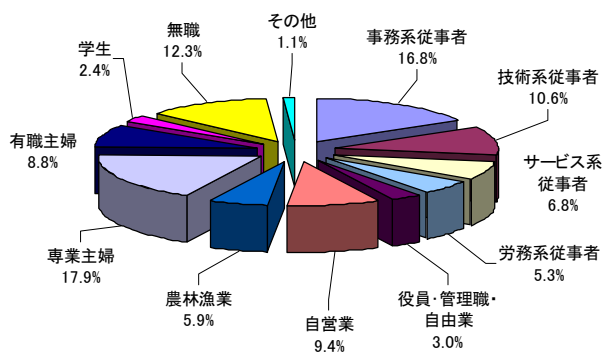
< 選挙区 >

1区	206	25.8%
2区	170	21.3%
3区	171	21.4%
4区	123	15.4%
5区	130	16.3%



< 職業 >

事務系従事者	134	16.8%
技術系従事者	85	10.6%
サービス系従事者	54	6.8%
労務系従事者	42	5.3%
役員・管理職・自由業	24	3.0%
自営業	75	9.4%
農林漁業	47	5.9%
専業主婦	143	17.9%
有職主婦	70	8.8%
学生	19	2.4%
無職	98	12.3%
その他	9	1.1%



## Ⅱ 単純集計と概要

### ◆この1年間の収入「減った」4割 「増えた」2割に届かず

問1 あなたの家庭では、この1年間の収入がその前の1年間に比べて増えましたか、減りましたか。		
増えた	154	19.3%
減った	326	40.8%
変わらない	300	37.5%
なんともいえない・わからない	20	2.5%

### ◆収入の増減「景気と関係ある」5割半ば

問2 それは景気と関係があると思いますか。		
思う	437	54.6%
思わない	306	38.3%
なんともいえない・わからない	57	7.1%

### 減収の補い方「預貯金取り崩し」「支出抑えた」が上位

問3 (問1で「減った」とお答えの人に) 収入が減った分は、主にどのような方法で補いましたか。2つ以内に絞ってお答えください。		
預貯金を取りくずした	163	50.0%
新たに仕事やアルバイトを始めた	27	8.3%
残業や仕事を増やした	24	7.4%
肉親・知人から借金した	6	1.8%
減った分は支出を抑えた	109	33.4%
不動産などの財産を処分した	3	0.9%
金融機関から借り入れた	0	0.0%
わからない・いえない	19	5.8%

### ◆不況の影響で「支出切り詰めた」5割超える

問4 あなたやあなたの家庭では、この1年間、不況の影響で支出を切り詰めましたか。		
切り詰めた	430	53.8%
とくに切り詰めなかった	350	43.8%
なんともいえない・わからない	20	2.5%

### 切り詰めた出費「衣類」「食費」「旅行・趣味」トップ3

問5 (問4で「切り詰めた」とお答えの人に) それはどのような出費ですか。しわ寄せの大きいものを2つ以内に絞ってお答えください。		
衣類関係	210	48.8%
食生活関係	149	34.7%
住居関係	20	4.7%
車、電化製品など大きな買い物	126	29.3%
身の回り・装飾品などの買い物	70	16.3%
貯蓄	42	9.8%
旅行・趣味	149	34.7%
教育	3	0.7%
冠婚葬祭・付き合い	12	2.8%
その他	6	1.4%

### ◆まとまった出費の意向「特にない」3分の1を超えトップ

問6 あなたやあなたの家庭で現在、なにかまとまったお金を使いたいことがありますか。最優先したいことを1つに絞ってお答えください。		
自動車	113	14.1%
電化製品(エアコンなど)	28	3.5%
情報機器(パソコンなど)	54	6.8%
住宅	144	18.0%
旅行・趣味	131	16.4%
その他	44	5.5%
とくにない	286	35.8%

◆今の景気の実感「不況のまま足踏み」5割半ば

問7 あなたの实感では、今の景気はどんな段階だと考えますか。		
好況が続いている	8	1.0%
不況から回復し拡大している	6	0.8%
不況の底から回復の兆しがある	211	26.4%
不況のまま足踏みしている	449	56.1%
不況がさらに深刻になっている	104	13.0%
わからない	22	2.8%

◆今後の景気「不況のまま横ばい」5割超す

問8 それでは、景気はこんご1年間でどうなると考えますか。		
好況が続く	6	0.8%
不況から回復し拡大していく	29	3.6%
不況の底から回復の兆しが見える	235	29.4%
不況のまま横ばいをたどる	428	53.5%
不況がさらに深刻になっていく	76	9.5%
わからない	26	3.3%

◆政府の景気てこ入れ策「良くない」合わせて6割にも

問9 あなたは、これまでの小淵内閣の景気てこ入れ策について、どう評価していますか。		
大変良い	12	1.5%
まずまず良い	219	27.4%
あんまり良くない	385	48.1%
全く良くない	102	12.8%
なんともいえない・わからない	82	10.3%

### ◆消費喚起に望む政策「消費税廃止・下げ」「雇用」の順

問10 あなたは、これから家計収入を増やし、個人消費をてこ入れするには、どんな政策を期待しますか。最優先すべきことを1つに絞ってお答えください。		
雇用を増やし失業率を下げる	169	21.1%
消費税の廃止、または税率を下げる	295	36.9%
公共事業をもっと増やす	62	7.8%
所得税をもっと下げる	77	9.6%
預貯金の利子を上げる	118	14.8%
とくにない	33	4.1%
わからない	46	5.8%

### ◆暮らし向きの不安「感じる」合わせて8割半ば

問11 あなたやあなたの家庭では、こんごの暮らしに経済的な不安を、どの程度感じていますか。		
かなり感じている	257	32.1%
少し感じている	419	52.4%
感じていない	120	15.0%
わからない	4	0.5%

### ◆暮らしの不安なくす政策—「雇用」「福祉・年金」「減税」

問12 (問11で「感じている」、「」とお答えの人に) そうした不安をなくすために、最優先してほしい政策はなんですか。1つに絞ってお答えください。		
財政赤字の解消	37	5.5%
減税	168	24.9%
雇用の安定	225	33.3%
福祉・年金の充実	213	31.5%
その他	13	1.9%
とくにない	10	1.5%
わからない	10	1.5%